



与野西北小だより

5月号

令和6年4月30日

【学校教育目標】	◇みんなと協力する子（徳育）	◇自分の力で考える子（知育）
	◇心身ともに健康な子（体育）	◇人との関わりを大切にする子（響育）
【学校経営方針】	みんなでつくる みんなの与野西北小学校	
【児童会スローガン】	せ・い・ほ・く だ・い・す・き	

【西北小学校50周年キャラクター】
西北五十九丸



与野西北小学校 TEL853-0109 ホムン・ゾアム http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/

言葉の力

校長 馬場 智哉

令和6年度が始まり、早一か月が経ちました。今、子ども達は、新しい教室、担任、友達にも徐々に慣れ、日々元気に学校生活を送っています。1年生も初めのうちは、はにかんだり、うつむいたりしてあいさつの声が小さかったのですが、今では、しっかりこちらの目を見て元気に挨拶をする児童が増えてきました。また、授業中の各教室等では、集中して学習に取り組む子ども達の姿が見受けられます。2時間目と3時間目の間の業間休みでは、校庭で多くの子ども達がドッジボールをしたり、鉄棒遊びや鬼ごっこをしたりする等、友達と思い思いに楽しんでます。子どもたちが集中して学習に取り組んだり、楽しそうに遊んだりしている姿を見てみると、とても温かい気持ちになります。この温かい雰囲気をつつまでも大切にしていきたいと思えます。

さて、「きつねのおきゃくさま」というお話を御存じでしょうか。あまんきみこさんの有名な絵本なので知っている方もたくさんいらっしゃると思います。主人公のきつねが、餌にするために育てていた、「ひよこ」「あひる」「うさぎ」の言葉によって、「勇敢な」「神様のような」きつねへと変わっていくお話です。

言葉には力があります。友だちや家族の言葉で気持ちが前向きになったり、弾むような気持ちになったりした経験が誰しもあるかと思えます。また、一方で言葉は人の心に深い傷をつくることもあります。

言葉には、話し言葉、書き言葉、手話、点字等、様々なものがあります。どれも人の心を伝え、人の心を理解する大切な言葉です。スマートフォンなどのメールで送られてくる文字も大切な言葉です。言葉は便利なものであると同時に使い方を間違えると非常に危険なものでもあります。

身の回りには人を元気にすることができる言葉がたくさんあります。挨拶もその一つです。私は、毎朝、子ども達から挨拶を通して元気をもらっています。また、子ども達を元気にすることができるように挨拶をしています。挨拶は、時間にするるとたった1秒程度の短い言葉ですが、相手を元気にしてくれる魔法の言葉です。その他にも、各教室に掲示してある「心を元気にする4つの言葉」「心を潤す4つの言葉」も人の心を明るく、元気にする言葉です。

今月の生活目標では「言葉」を取り上げています。子ども達には、今までの自身の言葉を振り返り、人を笑顔にしてあげられる言葉、力をあげられる言葉について考えてもらいたいと思えます。そして、人を元気にする素敵な言葉を使い、自分の言葉で、笑顔あふれる充実した学校生活を創りあげてくれることを願っています。これを機に御家庭でも、お子様が日ごろ使っている言葉について振り返ってみてください。

ゴールデンウィークも後半に差し掛かってきました。有意義な休みとなるように、御家庭におかれましては、お子様の体調や様子の変化に一層ご配慮ください。また、大型連休後は、子ども達の変化に気を配る必要があります。気になることがございましたら学校へ御連絡いただきますようお願い申し上げます。

与野西北小学校児童の安全のために

交通指導員の中村 孝明 様は、8年もの長きにわたり本校児童の登校を見守ってくださっています。雨の日も風の日も雪の日も、いつも子ども達を見守ってくださっています。そして、一日元気に過ごすことができるようにと、笑顔で子ども達に声をかけてくださっています。非常に有難いことです。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。

本校では本年度から通学班編成が無くなり、昨年度までの通学班を引き継いで登校する児童と、個人で登校する児童がいます。様子を見てみると、歩道を大きくはみ出て車道を話しながら歩く児童の姿も見受けられます。また、地域の方からは、急に走り出したり、膨らんだりする児童もいるという話もいただいています。御家庭におかれましては自分自身の身を守るため、また、友達を守るためにも、今一度、登下校の安全確保についてお話しく下さい。



年間の生活目標：気持ちのよい あいさつをしよう
ろう下は 右側を しずかに歩こう

5月の生活目標：正しい言葉づかいで話そう

安全点検の結果：4月の安全点検の結果、異状ありませんでした。



【校長室より①】

4月8日(月)に本年度初日、始業式と入学式が行われました。体育館で行われた始業式には六年生が代表として参加し、他の学年の児童は各教室でテレビ放送を通して参加しました。式中、六年生は立派な態度で話を聞き、最高学年としての自覚をもちながら式に参加することができました。新たな与野西北小学校のリーダーの活躍に期待が膨らみました。

【校長室より②】

4月17日(水)より1年生の給食が始まり、担任の先生の説明をよく聞きながら給食の準備に取り組みました。慣れない手つきで配膳をする子ども達でしたが、思っていたよりずっと早く準備をすることができました。顔の大きき程もあるパンを、おいしそうに食べる子ども達の姿に心和むひと時でした。



【校長室より③】

4月22日(月)に1年生と高学年児童を対象とした交通安全教室が行われました。子どもの飛び出しによる交通事故が市内でもたくさん起きています。道路を横断するときには一旦止まって左右をしっかりと確認すること等、御家庭でも交通ルールについてお話をなさってみてください。



【校長室より④】

4月24日(水)に1年生を迎える会が行われました。コロナ禍からアフターコロナへと生活が変わる中、昨年度はテレビ放送でしたが、本年度は全校児童が体育館に集まって実施しました。2年生からの温かな呼びかけの言葉を聞きながら、1年生も来年には、この2年生のように、立派に新入生を迎えるようになるのかと、子どもの成長の早さを実感しました。

